

平成 27 年 12 月

## 第 1 回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

「第 1 回鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

### 【概 況】

- 今期の業況 D I は▲15 であった。業種別にみると、卸売・小売業では 0 だが、それ以外の業種ではマイナスとなっており、特に建設業は▲29 と厳しい。
- 来期の業況見通し D I は▲12 となり、今期（▲15）よりやや改善する見通しである。業種別にみると、農水産業及び製造業、卸売・小売業では改善するものの、建設業とその他では悪化し、特に建設業は▲41 と厳しい見方が強まる。
- 今期の製(商)品販売単価 D I は 3 であったが、来期は▲5 となり、マイナスに転じる見込みである。また、今期の原材料仕入単価 D I は 29 で、来期も 28 とほぼ横ばいとなっていることから、仕入れ単価の上昇を販売単価に転嫁しにくい状況であることがうかがえる。
- 今期の雇用人員 D I は▲34 で、全ての業種でマイナスとなっており、労働力不足が深刻化している。来期も▲38 と引き続き厳しい状況が見込まれる。業種別にみると農水産業は横ばいだが、それ以外の業種では悪化し、特に建設業では今期▲47、来期▲53 と更に労働力不足が深刻化するとの見方が強い。

### 【調査要領】

- 1 対象企業： 市内事業所 150 箇所（回答数：111 件 回答率：74.0%）
- 2 調査時期： 平成 27 年 10 月
- 3 対象期間： 平成 27 年 7～9 月期実績、平成 27 年 10～12 月期見通し
- 4 調査方法： 郵送方式
- 5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D I 値」として指標化しました。  
例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D I 値は「▲40」となります。「D I」（Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。
- 6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益

### 鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@e-kanoya.net

第1回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果集計表

(単位：%)

四半期別 状況 項目	平成27年4～6月期 前期実績				平成27年7～9月 今期実績					平成27年10～12月 来期見通し				
	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI	前 回 調 査 時 今 期 見 通 し	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI	
	(A)	(B)	(C)	(A-C)	(A)	(B)	(C)	(A-C)		(A)	(B)	(C)	(A-C)	
<b>自社の業況(景況感)</b>	0	0	0	0	16	53	31	▲15	0		12	65	24	▲12
農水産業				0	14	57	29	▲14			21	71	7	▲14
建設業				0	6	59	35	▲29			0	59	41	▲41
製造業				0	17	50	33	▲15			13	61	26	▲13
卸売・小売業				0	27	45	27	0			18	73	9	▲9
その他				0	18	55	27	▲9			9	68	23	▲14
<b>生産高(製造業)</b>				0	28	43	30	▲2			17	54	28	▲11
<b>売上・完工高</b>	0	0	0	0	24	35	41	▲17	0		17	53	31	▲14
農水産業				0	14	43	43	▲29			14	71	14	▲0
建設業				0	12	35	53	▲41			13	38	50	▲38
製造業				0	23	36	40	▲17			15	50	35	▲20
卸売・小売業				0	45	27	27	18			27	64	9	▲18
その他				0	29	33	38	▲10			19	52	29	▲10
<b>製品・商品在庫 (適正水準比)</b>	過剰 0	適正 0	不足 0	0	過剰 11	適正 75	不足 14	▲3	0					
農水産業				0	7	79	14	▲7						
建設業				0	8	58	33	▲25						
製造業				0	9	79	12	▲2						
卸売・小売業				0	36	64	0	36						
その他				0	0	82	18	▲18						
<b>製(商)品販売単価</b>	上昇 0	横ばい 0	低下 0	0	上昇 12	横ばい 78	低下 9	3	0		上昇 6	横ばい 82	低下 12	▲5
農水産業				0	23	69	8	15			8	62	31	▲23
建設業				0	7	80	13	▲7			7	73	20	▲13
製造業				0	4	84	11	▲7			2	90	7	▲5
卸売・小売業				0	45	45	9	36			18	73	9	▲9
その他				0	8	92	0	8			8	92	0	▲8
<b>原材料仕入単価</b>	上昇 0	横ばい 0	低下 0	0	上昇 34	横ばい 61	低下 5	29	0		上昇 32	横ばい 64	低下 4	▲28
農水産業				0	23	77	0	23			15	85	0	▲15
建設業				0	41	53	6	35			41	53	6	▲35
製造業				0	27	68	5	23			29	67	5	▲24
卸売・小売業				0	45	55	0	45			18	82	0	▲18
その他				0	50	36	14	36			57	36	7	▲50
<b>資金繰り</b>	楽 0	普通 0	窮屈 0	0	楽 8	普通 72	窮屈 20	▲12	0		楽 6	普通 74	窮屈 20	▲15
農水産業				0	7	71	21	▲14			7	71	21	▲14
建設業				0	12	59	29	▲18			12	65	24	▲12
製造業				0	7	76	17	▲11			0	80	20	▲20
卸売・小売業				0	18	64	18	0			18	64	18	▲0
その他				0	5	77	18	▲14			5	77	18	▲14
<b>雇用人員</b>	過剰 0	適正 0	不足 0	0	過剰 5	適正 55	不足 40	▲34	0		過剰 2	適正 58	不足 40	▲38
農水産業				0	7	64	29	▲21			0	79	21	▲21
建設業				0	0	53	47	▲47			0	47	53	▲53
製造業				0	4	57	38	▲34			2	61	37	▲35
卸売・小売業				0	18	45	36	▲18			9	55	36	▲27
その他				0	5	50	45	▲41			0	50	50	▲50
<b>損益</b>	好転 0	横ばい 0	悪化 0	0	好転 17	横ばい 53	悪化 30	▲13	0		好転 15	横ばい 57	悪化 28	▲13
農水産業				0	14	64	21	▲7			21	64	14	▲7
建設業				0	6	47	47	▲41			13	38	50	▲38
製造業				0	19	47	34	▲15			13	53	33	▲20
卸売・小売業				0	36	55	9	27			27	64	9	▲18
その他				0	14	62	24	▲10			10	71	19	▲10

注) 四捨五入の関係上、D I 値 (A-C) は一致しない場合がある。